



6月～7月上旬の農作業

梅雨の時期です。早めの敷ワラや予防防除の実施で病害の発生を未然に防ぎましょう！

種まき	定植	栽培のポイント									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウレンソウ</li> <li>・コマツナ</li> <li>・チンゲンサイ</li> <li>・ダイコン</li> <li>・カブ</li> <li>・ニンジン</li> <li>・シロウリ</li> <li>・スイートコーン</li> <li>・セルリー</li> </ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイカ</li> <li>・オクラ</li> <li>・ナス</li> <li>・ゴーヤ</li> <li>など果菜類一般</li> <li>・サツマイモ</li> <li>・アスパラガス</li> <li>・ニラ</li> <li>など</li> </ul>	<p><b>【タマネギの収穫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の8割で茎がぼったりと倒れたら収穫時期になります。</li> <li>・収穫後は“根切り”を行い、晴天下で2～3日、畑で球の表面を乾燥させます。</li> <li>・表面乾燥後、1束5～10球毎結束し、直射日光の当たらない風通しの良い場所で乾燥・保存します。</li> <li>・収穫が遅れると、鮮度が落ちて貯蔵中に腐敗が起こりやすくなるので注意しましょう。</li> </ul>	 <p>茎の倒れ始め</p>								
	<p><b>収穫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タマネギ</li> <li>・ニンニク</li> <li>・シュンギク</li> <li>・ニラ</li> <li>・キュウリ</li> <li>・サヤエンドウ</li> <li>など</li> </ul>	<p><b>【アスパラガスの立茎時期（春収穫のみ）の判断】</b></p> <p>アスパラガスは適当な時期に収穫を打ち切らないと、次期以降の収穫量に悪影響が出てしまいます。継続的・安定的に生産を続けていくためには、その源となる地下茎の貯蔵養分を全て収穫により消費してしまうわけにはいかないので、“立茎”させて光合成を行い、次期以降の生産のための養分を再び蓄える必要があります。そこで、以下を基準に総合的に判断し、立茎時期の目安としてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーク時に対する収穫量が30%となる</li> <li>・穂先が開きやすくなったり、側芽から細茎の発生が多くなる</li> <li>・収穫日数による目安（下表）</li> </ul>									
<p><b>◆アブラムシ類に注意！</b></p> <p>病害虫防除所(須崎市)によると、今月はアブラムシの発生量がやや多いと予測されています。トマトやキュウリなどに下図(写真)のような虫が見られたら要注意！早めに防除を行いましょう。</p>											
 <p>アブラムシの有翅虫(オス)</p>											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>株の年生</th> <th>収穫日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2年生（収穫1年目）</td> <td>15日</td> </tr> <tr> <td>3年生（収穫2年目）</td> <td>30日</td> </tr> <tr> <td>4年生（収穫3年目）以降</td> <td>60～80日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、夏秋どり栽培では2週間程度早めの打ち切りとする</p>	株の年生	収穫日数	2年生（収穫1年目）	15日	3年生（収穫2年目）	30日	4年生（収穫3年目）以降	60～80日	
株の年生	収穫日数										
2年生（収穫1年目）	15日										
3年生（収穫2年目）	30日										
4年生（収穫3年目）以降	60～80日										

Q1. キュウリの「うどんこ病」対策を教えてください。

過繁茂は病気の発生を助長するので、古くなった下葉は早めに摘葉して株間の風通しを良くしましょう。また、発病後の防除は困難なので、発病前に下表を参考に薬剤を選択し予防防除に努めます。

表. キュウリのうどんこ病に対する主な予防防除薬剤の使用基準

薬剤名	希釈倍数	散布液量	使用時期	使用回数
ダコニール1000	1,000	100～300ℓ	収穫前日まで	8
トップジンM水和剤	1,500	/10a		5

※H29年5月17日現在の登録内容(JPPネットより)

Q2. 地這いキュウリを栽培する際、支柱栽培のように枝を仕立てる必要はあるのでしょうか？枝を伸ばしっぱなしにしてはいけませんか？

「立ち性」のものとは比べると枝分かれが多い特徴があります。枝の伸ばしっぱなしは、混み合っただけでなく、親づるに雌花が着生しにくい性質があるため肥料をムダに多く使われてしまうので、ある程度整枝してあげた方が良いでしょう。親づるを本葉7枚程度で摘心し、子づるを4本程度伸ばします。伸ばした子づるを15節程度で摘心し、発生した孫づるに果実を成らせることが基本となります。

農作業安全チェック！ ～ 脚立作業 ～

作業中のうっかりミスによる死亡事故が多発しています。今月よりシリーズで農作業安全のポイントをお伝えしていきます。今一度、自らの農作業を振り返り適正なものとなるよう確認していきましょう！

今回は「脚立の安全使用5原則（農水省）」をチェックしましょう。



開脚防止チェーンをつける

天板にのらない



設置する際、最下段のステップに乗って“トントン”と踏み込む



上り下りの際に重たいものを持たない



身を乗り出さず、直上直下で作業する

★ 脚立は、いかに安定に設置し、不安定な状況を作らないかが重要な課題となります。

あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上田農業改良普及センター（木曽）

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161